



餅への支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -



お正月休みには、おせち料理と共に餅を口にする機会が多かったのではないかと思います。

そこで今回は、餅への支出について家計調査の結果から見てみましょう。

餅への支出が最も多いのはやはり12月

餅の1世帯当たりの平均支出金額を月別に見てみると、正月を迎える準備もあって12月が最も多くなっており、年間の支出金額の約6割を占めています（図1）。

12月の餅への支出は30日が最も多い

次に12月について1世帯当たりの平均支出金額を日別に見てみると、最も多くなるのは大晦日の31日と思われがちですが、結果は毎年晦日の30日となっています。これは、餅は食べるだけでなくお供えとして神棚に飾ることも多いので、いわゆる「一夜飾り」を嫌う風習^注が一因と考えられます（図2）。

注：「正月の神様を迎えるのに一夜（大晦日だけ）では誠意に欠ける」として嫌う風習

年間支出金額の一位は金沢市

最後に、1世帯当たりの餅への年間支出金額（平成23～25年平均）を都道府県庁所在市別にみると、金沢市が2,857円と最も多く、次いで岐阜市、福井市、松江市、富山市となっています。

これを見ると、上位5位までに北陸3県の県庁所在市が入っていることが分かります（図3）。

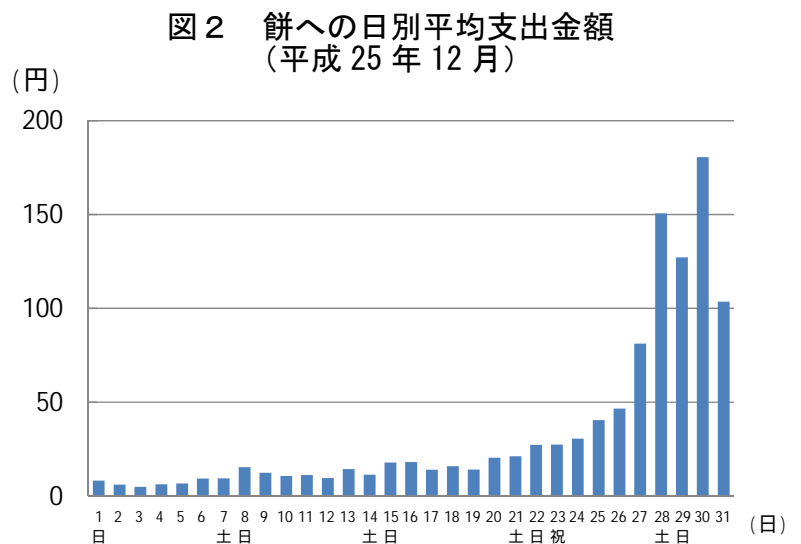
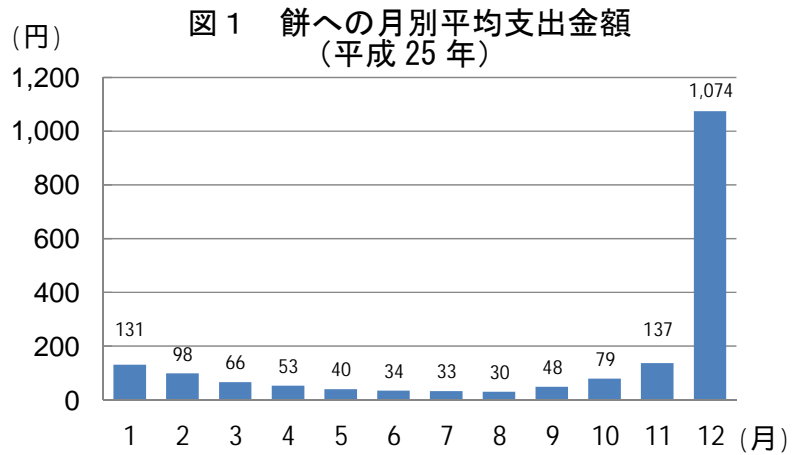


図3 餅への都道府県庁所在市別年間支出金額（平成23～25年平均）

